

図書館 だより

No.72



2006.10

Fuji Women's University Library

図書館の変革を求めて…

人間生活学部保育学科 須永 進

今年の4月に図書館長に就任して、早半年になろうとしています。早速、「図書館だより」に図書館あるいは図書に関係することを書くように依頼を受けましたので、これから図書館が解決しなければならない課題についてお話したいと思います。

まず、藤女子大学の図書館は今日運営上いくつか困難な課題をかかえています。そのひとつが、北16条キャンパス(本館)及び花川キャンパス(花川館)の各校舎ともに所蔵スペースの不足という事態です。増え続ける図書に限られたスペースが追いつかないのが実状です。なかでも、花川館では所蔵スペースだけでなく閲覧スペースも試験前になると大変に混雑するなど、状況は深刻で早急な対応が求められています。一方、本館においてもスペース不足は緊急事態で、地下のかつての厨房スペースを書庫にして急場をしのいでいる有様です。このような慢性的なスペース不足は、利用する学生や教職員及び一般の方に十分な図書サー

ビスができていく状況に加え、図書館職員にとっても書架移動に追われるなど、早急に具体的な方策を考える必要があります。

次に、これは大学基準協会による第三者評価(加盟判定審査・認証評価結果の助言)にもありますが、本館と花川館における格差、すなわち蔵書数についてです。2005年度における基本的な数値をみると、本館が約23万冊に対して花川館は約8万冊となっています。北16条キャンパスの文学部と花川キャンパスの人間生活学部では、学部設置の年数に違いがあるため、こうした格差が見られることは当然とも言えますが、利用する側に何らかの不利益や不便を与えるとすると、黙認できない点です。また、学部の特性(主に人文・社会科学系と自然科学系)によるといった見方もありますが、例えば当面の策として両キャンパスの一体化を進めるための搬送システムの整備など、この機会に改めて見直す必要はあるのではないのでしょうか。

また、このことと関連がありますが、電子ジャーナルへの移行も今後視野に入れる必要がありそうです。どの程度の電子化が必要かについては十分検討を要しますが、少なくともこの方向に向けて

C O N T E N T S

図書館の変革を求めて……………	①
須永 進	
知って得する! 図書館活用術……………	④

図書館学生アルバイトの皆さんの感想から……………	⑥
図書館委員会からのお知らせ……………	⑦
図書館の統計から……………	⑦
図書館員のオススメ本 第1回……………	⑧

本館と花川館の蔵書構成 (2006年 4月現在)

本館

分類	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	%
総記	17,645	4,154	21,799	9.4
哲学	17,926	6,057	23,983	10.3
歴史	21,180	2,017	23,197	10.0
社会科学	22,827	1,973	24,800	10.6
自然科学	4,783	151	4,934	2.1
工学	1,631	0	1,631	0.7
産業	535	29	564	0.2
芸術	12,256	1,482	13,738	6.0
語学	11,325	4,040	15,365	6.6
文学	79,412	23,225	102,637	44.1
合計	189,520	43,128	232,648	100.0

花川館

分類	和書 (冊)	洋書 (冊)	合計 (冊)	%
総記	2,138	76	2,214	2.8
哲学	6,159	463	6,622	8.3
歴史	2,652	81	2,733	3.4
社会科学	25,385	882	26,267	32.9
自然科学	13,973	1,550	15,523	19.5
工学	10,365	371	10,736	13.5
産業	2,354	109	2,463	3.1
芸術	4,275	180	4,455	5.6
語学	4,292	109	4,401	5.5
文学	4,269	44	4,313	5.4
合計	75,862	3,865	79,727	100.0

対応していかざるを得ないと思われます。

次に、開館時間の延長についてです。これは主に大学院生や社会人など、学部生とは異なる時間帯での利用に配慮して考えなければならない課題と言えます。また、学部生についても、本館及び花川館ともにスペースが狭隘であるため、試験期など利用時期によっては混雑する事態が見られることから、混雑が事前にわかっているこうした時

期の時間延長は緊急な課題として早急に取り組むべきと考えています。特に花川館の状況は可及的速やかに対応すべきと思われます。

その他、本学の方針のひとつでもある地域社会への貢献として自治体等との協力を通して大学図書館の開放をさらに進める方策を充実させ、利用者サービスを拡大することも課題としてあげられます。現在は石狩市民図書館との連携によってこ

の動きが図られています。今後もさらなる対応を推進することが求められています。

さらに、本年度の課題として位置づけている点として、学生及び教職員を対象とした図書館利用者調査を予定しています。利用者のニーズを知ること、これからの変革の方向性を知るひとつの有力な手段といえます。図書館に「いま、何が求められているのか」を分析し、これからの図書館運営に活かしていくことがいま、極めて重要と思われれます。

以上の諸課題については、現在図書館委員会で検討していますが、この他にも検討を要する課題は少なくありません。

次に私見になりますが、例えば委員会機能という視点で見ると、図書あるいは図書館に関連する委員会として、図書館委員会のほか、情報メディアセンター運営委員会などが現在それぞれの目的にそって活動を展開していますが、今後は多様化や発展が進む分野であることから必要に応じて合同で協議を行う機会を増やすなどの取り組みが求められるように思えます。

また、先に指摘したような図書スペースの確保は、中・長期的展望においては新たな構想、例えば新しい図書館の設置を現実的課題として認識する必要があります。新図書館の設置により長い間懸案であったスペースの解消のみを期待するのではなく、付加価値として女子大学の特性や意義といった視点を具体的に提供できるコンテンツを有する総合的な情報センターであることが望まれます。例えば、従来の図書サービスのほかに、藤女子大学の数多くの卒業生（既卒者）を対象に、就職情報の提供や育児、ライフスタイルなどさまざまな相談や支援活動を行う場として最新の情報とさまざまな支援機能を合わせ持つ多機能な図書館の創設を個人的に思い描いています。

ここでは、本年度の図書館委員会の主な検討課題に加え、私見としてこれからの藤女子大学の図書館のあり方について、話を進めてきました。それは、これからの本学図書館のあり方・方向性をより明確なものにする時機に来ているように思われたからです。

●● 知って得する！図書館活用術 ●●

— 雑誌論文の探し方と入手方法&書誌情報の見方 —

知っているようで意外と知らない図書館のこと。“図書館＝本を借りる場所”だけで終わらせていませんか？ 実は図書館では貸出サービスのほかにもさまざまなサービスを行っています。レファレンスサービスといって、資料の探し方について案内したり、データベースの使い方を説明したりもしています。

今回はこの場を借りて雑誌論文の探し方と入手方法、書誌情報の見方についてご紹介します。これらをマスターするとレポート作成がぐんと楽になるはずですよ！

雑誌論文の探し方と入手方法

雑誌論文を探すといっても、何から探しているのかよくわからない…データベースを検索してもうまく論文がヒットしてこない…それはテーマとキーワードの絞り込みがうまくできていないからでは？

論文を探し始める前に…

まずは何について調べたいのか、しっかりと把握しましょう。
テーマが決まったら、それに関する入門書、概説書、参考図書（用語辞典、専門事典、文献目録等）を利用し、基礎的な知識をゲット。論文を探す際にキーワードとなる言葉を選択、絞り込んでいきます。

上の作業を経てキーワードを選んだら、実際に論文を探し始めましょう。

キーワードをもとに各データベースで論文を探す

論文の掲載誌の有無を本学 OPAC（蔵書検索）で確認。
ポイント 必ず論文が掲載されている雑誌名で検索してください。書誌情報の見かたは右ページをチェック。

所蔵している場合 コピーや貸出で利用

所蔵していない場合 調査・案内カウンターへ。
他大学の図書館を直接利用したり、論文のコピーを取り寄せたりすることができます。
他大学の所蔵は Webcat (<http://webcat.nii.ac.jp/>)
または WebcatPlus (<http://webcatplus.nii.ac.jp/>)
で調べることができます。

もし論文が膨大にヒットしたり、逆にあまりヒットしてこない場合にはキーワードの見直しが必要です。もう一度、最初に戻って適切なキーワードを探すところから始めてみましょう。その際、参考図書コーナーにある類語辞典やシソーラス辞典を活用すると言葉の広がりを得ることができます。

雑誌論文検索のための主なデータベース

- NDL-OPAC <http://opac.ndl.go.jp/>
- CiNii (サイニイ) <http://ci.nii.ac.jp/>
- 大宅壮一文庫 <http://www.oya-bunko.com/> (本館のみで利用可)
- PubMed <http://www.ncbi.nlm.nih.gov/entrez/query.fcgi>
- JDream II <http://pr.jst.go.jp/jdream2/> (花川校舎からのみ利用可)
- Medical Online <http://www.meteo-intergate.com/library/> (花川校舎、本館でのみ利用可)

書誌情報の見方

左ページの要領でデータベースを検索、読みたい論文がヒット。ところで詳しい書誌情報って、どう見るのかな？ では、CiNii の画面を例にとって説明しましょう。

文献書誌・引用情報 論文ID:40005979017	
本文言語コード	: JPN
③ 著者名	: 田中,功; 上村,美紗子; 高野,真理子 他
④ 論文名	: 日本女子大学における図書館ガイダンスのe-ラーニング
① 雑誌名	: 情報管理 (ISSN 0021 7298)
② 出版事項	: Journal of information processing and management (ISSN 0021 7298) : 巻号 46(8) / ページ530~535 / 出版年 2003/11
出版者等	: 科学技術振興機構情報事業本部
キーワード(その他)	: (NDL) 大学図書館 / 図書館オリエンテーション / 図書館利用教育 / 情報リテラシー教育 / Library guidance / e-learning / academic library / library orientation / library use / information literacy education
分類記号	: ZMI (科学技術—科学技術一般) // ZUB (書誌・図書館—一般年鑑—図書館・ドキュメンテーション・文書館)
請求記号	: Z14-375
雑誌記事索引ID	: 0527971000
収録DB	: NDL
本文リンク等	: 本文なし
所蔵	:  AN00116534

references (0件)	citings (0件)
引用文献は登録されていません。	

上の赤囲みから

- ① 雑誌名: 「情報管理」 (ISSN: 00217298)
 - ② 出版事項: 46巻8号 (2003年11月) 530~535頁
 - ③ 著者名: 田中功氏ほか
 - ④ 論文名: 日本女子大学における図書館ガイダンスのe-ラーニング
- という情報を読み取ることができます。

重要なのは 論文が掲載されている雑誌 (論文の掲載誌) を探す、ということです。この例では「情報管理」という雑誌を所蔵しているかどうかを本学 OPAC で検索してください。タイトルの所蔵が確認できたら、次は巻号をチェック。貸出になっていたり、欠号になっていたりすることもあります。探している巻号が書架に見当たらない場合には係にお尋ねください。

ミニ知識

ISSNとは…

国際逐次刊行物番号 International Standard Serial Number の略称。1つの雑誌に1つの ISSN が付与されています。OPAC で検索する際、ISSN を利用すればタイトル入力の手間が省けます。全世界共通の番号なので、他大学の OPAC 等を検索するときにも使えます。ちなみに図書に使われるのは ISBN (国際標準図書番号 International Standard Book Number) といいます。

以上、ざっと説明してみました、いかがでしたか？

よくわからないこと、もっと詳しく知りたいことなどがありましたら調査・案内カウンターでお尋ねください。今回の特集に関係のないことでも質問は随時受け付けています。図書館を活用して充実した学生生活を送ってくださいね。

図書館学生アルバイトの皆さんの感想から

図書館では、2005年度から月～金曜日の16時30分～19時、土曜日の12時30分～15時の時間帯は、学生がカウンターや図書館の館内で仕事をしているのをご存じですか？

1年間図書館で仕事をした学生アルバイトの方からの意見・感想を紹介し、お答えしたいと思います。

☆資料について

- ・資料の探し方、書架の並び方がわかるようになった。
 - ・本を使った後は、元のところに戻さないとあとで大変だとわかった。
- 図書館では、図書は“請求記号”によって左から右へ、上から下へと並んでいます。請求記号は、図書の背に貼ってあるラベルに“数字”と“アルファベット”の組み合わせで書いてあり、図書の住所のようなものです。この請求記号を手がかりに図書を探します。

請求記号は図書の場所を表す以外に、資料の内容（主題）も表しているため大まかな内容を知ることがもできます。



[分類記号]

日本十進分類法(NDC)を用いて資料の内容を表します。
365→生活問題

[著者記号]

日本著者記号表により著者名を記号化したものです。

☆図書館内について

- ・おしゃべり、携帯電話の利用が気になった。
- 図書館は勉強や読書をする場所です。たとえ小さな声でも、周りに迷惑をかけていることになります。携帯電話の利用も同様です。図書館内では静かにしましょう。

☆飲食について

- ・ペットボトルや飲みかけの缶を持っている学生を見かけた。
- 図書館内は飲食禁止です。持ち込みも控えましょう。ペットボトルなども机に置くのではなく、カバンの中に入れてください。

図書館内での飲食は、害虫やカビの発生原因となったり、飲み物をこぼして汚してしまったりと、資料の汚損・劣化の原因をまねくこととなります。資料を汚損・破損してしまった場合は、弁償となります。絶版等で入手できない貴重な資料もあるので、丁寧に取り扱いましょう。

☆新着本について

- ・毎週毎週新着本があんなに入ってきていたなんて少し驚きました。
- 図書館では、毎週月曜日たくさんの本が新しく入っています。カウンター前の棚に新しく入った本が並んでいるので、ぜひチェックしてみてください。

新着の棚にある時は一夜貸出（16：00～翌朝10：40）ですが、翌週からは通常どおりの貸出となります。ベストセラー等は予約がたくさん付きますので、早めの予約をおすすめします。

図書館委員会からのお知らせ

・2006年度図書館委員

図書館長

須永 進 人間生活学部保育学科

平松 哲司 文学部英語文化学科

漆崎 正人 文学部日本語・日本文学科

柊 暁生 文学部文化総合学科

飯村しのぶ 人間生活学部人間生活学科

知地 英征 人間生活学部食物栄養学科

山田りよ子 人間生活学部保育学科

・2006年度図書館委員会が実行すべき課題

本学の自己点検評価委員会及び大学基準協会からの助言等を基に、以下の目標を立て、第1回図

書館委員会（4/26開催）以降現在まで3回の図書館委員会を開催し取組みを進めております。

- 1) 本館地下書庫を整備し書架スペースの狭隘化の緩和を図り、花川館の保存スペースとしても活用する。
- 2) 図書館の開館時間の延長を検討する。
- 3) 本館・花川館の格差是正—新学科、研究科における基本資料を一層整備する。
- 4) 電子的資料の整備について具体的検討を始める。
- 5) 本学発行の研究紀要等の国立情報学研究所による電子化申請のための準備を進める。
- 6) 利用者アンケートを実施する。

図書館の統計から

本学の学生は図書館をよく利用することで知られています。

例えば、2005年度の学生一人当たりの年間貸出冊数は25.4冊。これは道内の大学では堂々1位を誇る数字です。ベストリーダー（貸出回数ランキング。OPAC上で公開しています）を見ると、講義関連の資料に混じり、趣味で読んでいると思われる現代小説が多数上位に来ていることがわかります。こんなところからも読書に対する興味・関心の高さがうかがえますね。

現在4年生のうち、これまでもっとも多く本を借りている学生の、1年生からの貸出トータル冊数は今年の7月の時点で480冊。大体月に10冊以上借りている感じでしょうか。

さて、そんな図書館利用率の高いみなさんですが、同じく4年生のうち、入学時から現在まで一冊も本を借りずにいる方も9名います（2006年7月現在）。心当たりのある方、卒業前に一度図書館に足を運んでみてください。思わず手にとりたくなる本との素敵な出会いがあるかもしれませんよ。

図書館員の **オ ス ス メ 本** ～第1回～

利用者の皆さんは本学の教育方針をご存じでしょうか。

- ・ 聖なるものに対する畏敬の念
- ・ 自由にして責任ある人格
- ・ 愛と寛容の精神
- ・ 奉仕による社会への貢献
- ・ 国際理解と平和への貢献

以上の5つです。

巡礼と聖地

キリスト教巡礼における心の探求

今野國雄著 ペヨトル工房

1991年

<本館・花川館 196.8||Ko75>

1990年NHK文化センターのセミナーでの話しを補足・修正して出版した図書。著者の今野氏は、修道院史を専門とし、西欧中世社会と宗教について多数の著書がある。

この本には、第1章「自分に巡りあう旅」から、第8章「銀河の道サンチャゴ・コンポステーラ」まで、多数の参考文献を紹介しながら巡礼のなんたるかを解説している。



四国遍路八十八カ所心の旅

<本館所蔵 ビデオ>

一番札所徳島県笠和山霊山寺から八十八番札所医王山大窪寺までの遍路道を4巻のビデオに纏めたもの。

建学の精神に基づくこの方針を思い起こすことは、その原点を訪ねることであります。そこで初回の図書館員のオススメ本は、聖地を目指し自分と出会う旅である「巡礼とお遍路本」としました(少し強引?)。

本学図書館は、キリスト教の聖地をめぐる巡礼と、空海を訪ねる旅お遍路に関する資料を多数所蔵しております。



星の旅人

スペイン「奥の細道」

黛まどか著 光文社

2000年

<本館 196.8||Ma98>

俳人黛まどかが小説「星の巡礼」(=写真)パウロ・コエーリョ著 地湧社 1995年<本館969||C83>に触発されて、スペイン「奥の細道」と題して聖地サンチャゴまで8百数十kmを48日間かけ、作句とともに歩いた記録。

四国遍路

辰濃和男著 岩波書店

2001年

<本館 186||Ta95>

元朝日新聞記者で、コラム「天声人語」を13年間担当した辰濃さんが四国八十八カ所巡りを纏めたもの。手引きも付き遍路を計画するとき役に立つ書である。

9月末からの図書館本館の特別展示は「巡礼とお遍路本」です。是非実際に足を運んでご覧下さい。

／編／集／後／記／

今年の夏は暑かったですね。冷房の無い本館では、汗を拭き拭き図書館だよりの原稿を書いていた。この号が出る頃にはすっかり秋も深まっているのだろうか、と想像しながら。それにしても地球温暖化の影響か、年々夏の暑さが厳しくなっているような気がします。北海道には冷房は要らない、というのは過去の話になっていくのでしょうか。秋の夜長には電気を消し、月明かりやキャンドルの炎を眺めながら地球の未来に思いを馳せる、なんていう過ごし方もたまにはいいかもしれませんね。

藤 女 子 大 学 図 書 館 だ よ り 第72号 2006.10

発行者 札幌市北区北16条西2丁目 藤女子大学図書館

TEL 011-736-5407 FAX 011-709-4770

<http://library.fujijoshi.ac.jp/index.html>